

首里城通信

2017
2
February

最新情報配信中



毎週 10:20~
風に吹かれて
首里城めぐり



首里城
だより

News

平成28年度

「首里城への美御水(ヌービー)の奉納祭」

主催 首里当蔵町自治会 12月25日に実施しました。



円覚寺奉納



献上ウスネーイ



献上の儀



美御水

首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」と「沢尻の樋川のお水取り」が行われ、首里城公園内では「円覚寺奉納」後、「献上ウスネーイ(行列)」が久慶門、右掖門、淑順門を通り、御内原(正殿裏)にて「献上の儀」を行いました。また献上された美御水は首里城正殿2階で1月3日まで展示されました。

首里城 魅力再発見

琉球王国の美

~琉球を彩った花々~

南殿二階 特別展示室

絵画

かちょうざこうきへいじゅつしゅんじつ
花鳥図康熙丙戌春日

製作年：康熙(こうき)45(1706)年
作者：孫億(そんおく)
雅号：干峰(うほう)

孫億は、清朝初期に福建で活躍した絵師です。孫億のもとには、石嶺伝莫(琥自謙)、上原真知(查秉信)、山口宗季(呉師度)など、多くの琉球人絵師が学びました。孫億は、花鳥虫草図を得意とし、弟子の山口の画風にも多大な影響を与えました。『御書院御物帳』には、首里城の書院に、三幅対の孫億の花鳥図があったと記録されています。



漆器

しゅうるしかちょうしっぽうつなぎみつたえちんきんうくはん
朱漆花鳥七宝繫密陀絵沈金御供飯(復元)

復元製作：2012年
原資料／16~17世紀前半

御供飯とは、首里王府が祭祀儀礼で使用した祭器。本資料は、徳川美術館が所蔵する御供飯を復元製作したものです。原資料は、1616年、徳川家康が没し、尾張徳川家初代藩主の徳川義直(家康九男)に贈られた遺産の目録に記述が残されています。現存する琉球漆器でこのような記録が残っている事例は珍しく、16~17世紀前半の琉球漆器の沈金や密陀絵の技法研究にあたって、基準資料となる重要な資料です。



絵画

とうけいざとうけいはなふきのず
闘鶏図闘鶏花房之図

製作年：道光(どうこう)23(1843)年
作者：佐渡山安健(さどやまあんけん)
唐名：毛長禧(もうちょうき)

佐渡山安健は、20代で王府の宮廷画家として活躍し、尚育王の御後絵(国王の死後に描かれる肖像画)の制作などに功績がありました。この闘鶏図は道光23(1843)年に尚育王の命によって描かれたことが彼の一族の事跡を記した『家譜』から判明しています。当時琉球では闘鶏が盛んだったようで、作画により国王から褒美を賜っていることから尚育王の愛鶏と思われる。



絵画

げっかしんびょうず
月下神猫図

製作年：明治32(1899)年
作者：仲宗根真補(なかそねしんぼ)(1843~?)
唐名：查丕烈(さひれつ) 雅号：嶂山(しょうざん)

仲宗根真補は琉球王府最後の絵師だった人です。西洋画の技法を取り入れた描写が特徴です。この作品の構図にもその影響が随所にみられます。背景に大きな月を半円で描き、菊とすすきを巧みに配置しています。猫の描写の毛の細かいところまで丹念に描いています。



琉球王国時代の美術工芸品に描かれている花の多くは、実際には琉球に生息していないものがほとんどでした。



展示会のご案内

現在、開催中!

〔黄金御殿 特別展示室〕

琉球楽器の響

~宮廷で奏でた楽器たち~

2016 12/16(金) ~ 2017 3/1(水)



総合展示

〔南殿二階 特別展示室〕

琉球王国の美

~琉球を彩った花々~

会期 1/13(金) ~ 2/26(日)

※写真はイメージです



新春の宴

～首里城で迎える
初春の慶び～

1月1日(日)～1月3日(火)の期間開催しました。観光客や県内のお客様など、多くの方にご来園いただき、誠にありがとうございました。

西原町字小波津の獅子舞



▲儀式終了後の記念撮影♪



▲バルーンアートのクラウン登場!

首里城リポート

友の会
主催

琉球の寺跡を訪ねる

首里城周辺めぐり

琉球王国時代の首里には多くの仏教寺院がありましたが、現在ではわずかに残っているだけです。今回はかつてのお寺の跡を巡り、政治の舞台や外交使節としてのお坊さんの活躍、お寺と王家のとの関係を知ることができました。



天界寺跡



円覚寺跡



建善寺跡

お寺跡めぐり
コース

- 天界寺跡
- 円覚寺跡
- 天王寺跡
- 建善寺跡
- 広徳寺跡
- 蓮華院跡
- 仙江院跡など

首里城講座

首里城公園は今年で開園25周年を迎えます!そこで第4期は首里城公園の復元に携わった3名の講師をお招きします。首里城の歴史・文化と一緒に学びませんか?



第1回
2/10
(金)

「首里城の復元方針・手法について」

講師：平良 啓(株式会社 国建 常務取締役)

第2回
2/17
(金)

「正殿の色は赤か黒かー
終わりのない首里城復元」

講師：安里 進
(沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員)

第3回
2/24
(金)

「首里城復元の意義」

講師：高良 倉吉(琉球大学名誉教授)

申込み開始 1/30(日) 10:00～
(定員に達し次第締切)

日時 17:00～18:30
場所 首里杜館1階情報センター

定員 各回 30名 参加費 各回 500円

※1回のみの受講も可能です。
お気軽にお問い合わせください!

企画展解説と御内原見学会 (未開園区域)

入館料

日時 2/20(日) 13時30分～15時
雨天時、内容変更有り

集合場所 系図座・用物座
※参加申込をされた方は、入館券をご準備の上、お集まりください

定員 25名(先着順)
※要申込

あたたかな春の息吹を一足先に

琉球の華みぐい

Ryukyu Flower Festival

園内を約3万株の草花で装飾します。色とりどりの草花で彩られた、一足早いあたたかな春をお楽しみください。

日時 1/13(金)～2/26(日)

◆イベント◆

園内草花装飾

日程：1/28(土)～2/19(日)
場所/飲会門～瑞泉門園路周辺、
銭蔵周辺

御開門式

無料

日時 毎日 8:25～8:45
場所 奉神門前

御開門式は、奉神門の開門を告げる朝の儀式。みなさまを正殿へ誘います。

琉球舞踊

舞への誘い

無料

首里城で育まれた華やかな琉球舞踊を鑑賞できます。

日時 毎週 水・金・土・日曜及び祝日 11:00/14:00/16:00 ※各回30分程度
場所 系図座・用物座

三線体験会

無料

琉球の伝統楽器である三線を気軽に楽しく体験できます。

日時 毎週 土・日曜及び祝日 11:40/14:40
※各回30分程度
場所 系図座・用物座

定員 5名(予約不可)
対象年齢 13才以上

イベント及び講座等は予告無く変更になる場合がございます。HPなどで最新の情報をご確認ください。

12月～3月 8:00～18:30

※正殿等、有料区域は 8:30～18:00
(入館券販売締切 17:30)

※駐車場開館時間は8:00～19:00

※季節により時間が変わります。

休館日：7月の第1水曜とその翌日

利用時間

入館料金

	大人	高校生	小・中学生
通常料金	820円	620円	310円
団体料金(20名以上)	660円	490円	250円
モノレールフリー乗車券割引			
年間パスポート	1,640円	1,240円	620円

首里城公園管理センター

TEL:098-886-2020
FAX:098-886-2022

http://oki-park.jp/shurijo/

